

J R 東海労働組合関西地「申」第30号
2021年3月11日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「2021年3月ダイヤ改正要員」に関する申し入れ

2月15日の業務委員会でダイヤ改正要員が出された。関西支社で運転士△15名、車掌△31名である。車掌の二人乗務により車内での業務の負担が多く更に要員減となるとお客様や乗務員の安全が保たれない。以下の申し入れをしますので、早急に団体交渉を開催すること。

記

1. 2021年3月ダイヤ改正による要員等の業務委員会で運転士△15名、車掌△31名と説明があったが要員削減の理由と根拠を明らかにすること。
2. 次回からは、ダイヤ改正前に行路・交番と要員提示を同時に行うこと。
3. のぞみ号の2時間27分運転が15本増加している。現行（2時間30分）より3分減で3分×15本で1日45分である。45分×365日で16425分、時間換算すると273.75時間で日にち（7時間労働）に換算すると39.1日（約40日）である。乗務人員（運転士1名・車掌2名）40日×3名で5所のトータル120日の余裕（効率化）が発生し、更なる労働強化となる。乗務員の安全と健康に対する補償措置として労働時間の短縮（6時間45分/日）を行うこと。

以上